



一般社団法人
日本看護研究学会

ニュースレター

第 10 号

2024年12月18日 発行

編集発行

日 本 看 護 研 究 学 会

(事務局)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目39-2-401

株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内

一般社団法人日本看護研究学会 事務局

TEL : 03-3982-2030 (直通)

FAX : 03-5981-9852

主な記事

理事長より / 新役員一覧 / 総会報告 / 第50回学術集会開催報告
第51回学術集会開催案内 / 50周年記念事業報告 / 委員会紹介
地方会からのお知らせ / 名誉会員挨拶 / お知らせ / 編集後記

理事長より



一般社団法人 日本看護研究学会

理事長 叶 谷 由 佳

今年度は、本学会が50周年を迎える年であり、8月に第50回の記念すべき学術集会が上野栄一学術集会長のもと奈良で開催され盛況に終えることができました。その際に50周年記念企画や50周年記念祝賀懇親会も開催されました。今まで歴史を築いてこられた多くの先生方にもご協力いただきました。企画いただいた皆様、ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。本学会の歴史を振り返る貴重な機会となったと同時に、新たな課題も明確になったように思います。

6月の社員総会でご承認いただいた新たな理事体制は、役員間のコミュニケーションの円滑化、組織体制の強化を方針に掲げ運営しています。

現在、検討している内容は、定款の見直し、委員会の見直し、会員管理の検討、地方会の要望に対する検討、ホームページ管理の見直し等です。担当理事にそ

れぞれの議題について提案していただき、理事会で議論しながら進めているところです。

会員の皆様からの意見も踏まえながら、新たな歴史に向かって発展させていきたいと思いますので、忌憚らないご意見を頂戴できれば幸いです。

また、今後、各委員会が主催するワークショップ、研究室訪問企画や学生会員向け研究助成公募等の案内が予定されておりますので、ぜひご参加いただければと思います。また50周年記念ワーキングの事業として記念誌の発行を予定しており、現在、準備中です。会員の研究活動の推進に寄与できる活動を今後も企画していきたいと思いますので、学会の活動に注目していただき、ご協力、ご参加のほどよろしく願いいたします。

2024年11月

新役員一覧

一般社団法人日本看護研究学会 2024-2026 役員名簿

理 事 長 叶 谷 由 佳

副理事長 安 藤 詳 子 鈴 木 み ず え

理 事	池 田 清 子	遠 藤 み どり	岡 美 智 代	岡 山 久 代	金 田 明 子	北 素 子
	佐 伯 由 香	作 田 裕 美	清 水 安 子	野 口 眞 弓	長 谷 川 真 澄	藤 田 君 支
	古 瀬 み どり	堀 口 雅 美	三 橋 睦 子	森 恵 子	山 勢 博 彰	

監 事 国 府 浩 子 任 和 子

総会報告

2024年度定時社員総会報告

総務担当 鈴木 みずえ 北 素子

2024年度定時社員総会は6月9日(日)11:00～11:30に一般社団法人日本看護研究学会事務局会議室で開催されました。本会事務局にて参加の浅野みどり理事長、叶谷由佳理事、Web参加の前田ひとみ副理事長、矢野理香総務担当理事、岡山久代渉外担当理事の陪席により、会議が進められました。

最初に浅野理事長より、本社員総会に対する書面表決による出席者数が115名(総社員数148名)となっていることが報告され、定款第27条、28条の規定により出席した社員の議決権の過半数(特別決議においては総社員の2/3以上)をもって決議を行うことが宣言されました。その後、2024年度定時社員総会資料にそって、書面表決の集計結果が確認されました。

報告事項では、会員数の動向、第8回評議員・役員選挙(2023年度)、第50回学術集会、第51回学術集会、地方会の活動報告(北海道、東海、近畿・北陸、中国・四国、九州・沖縄)がありました。審議事項は、2023年度事業報告、一般会計・特別会計決算、監査報告があり、承認されました。2023年度学会賞は堀口智美氏が、奨励賞は橋本晴美氏、小野寺美希子氏、天野功士氏、上山千恵子氏、浅井克仁氏が筆頭著者の5論文が推薦され、承認されました。また、役員の選任についても異議なく承認され、新理事長に叶谷由佳氏が就任することとなりました。名誉会員に山口桂子氏を推薦することが承認されました。

第50回学術集会開催報告

第50回学術集会を終えて

一般社団法人 日本看護研究学会
第50回学術集会会長 上野 栄一
(奈良学園大学保健医療学部 教授)



日本看護研究学会第50回学術集会は令和6年8月24日、25日と2日間にわたり奈良県コンベンションセンターで開催されました。対面形式で実施した本学術集会では900名以上のご参加をいただきました。無事盛会のうちに終了することが出来ました。ご協力いただいた事務局、企画委員、実行委員、ご参加いただいた皆様、協賛いただきました皆様に感謝申し上げます。学術集会の内容は、50周年企画Ⅰ【JSNR50周年記念座談会「古きを訪ねて新時代を拓く」】をはじめ、50周年企画Ⅱ【パネルディスカッション「地方会の歩みとこれから」】、そして多彩な講演、シンポジウム、市

民公開講座があり、演題発表もとても活発な意見交換がなされました。また、50周年の特別な企画としてオープニングに本学のマーチングバンドの演奏、そしてランチタイムや懇親会でのプロのカルテットの演奏を企画し、多彩なプログラムで第50回学術集会にふさわしい学会となりました。

第50回学術集会のテーマ「発祥の地から未来を拓く看護研究」とあるように、今後のますますの日本看護研究学会の発展そして、皆様のご健勝とご活躍を祈念してご挨拶いたします。ありがとうございました。



第51回学術集会開催案内

第51回学術集会開催案内

会 期：2025年 8月30日（土）・31日（日）
会 場：石川県金沢市 石川県立音楽堂 ほか
テーマ：プラネタリーヘルス時代における看護学研究のグレートリセット
学術集会会長：法橋尚宏（神戸大学大学院保健学研究科 教授）
ウェブサイト：<https://nursingresearch.jp/51jsnr/>
演題募集期間：2024年12月16日（月）～ 2025年 4月11日（金）



50周年記念事業報告

日本看護研究学会50周年記念事業 第50回学術集会での企画を終えて

50周年記念事業ワーキンググループ委員長 安 藤 詳 子

今年の夏、猛暑の日々が続く中、2024年 8月24-25日、奈良の地で記念すべき第50回学術集会が開催されました。爽やかな朝を迎えた会場受付では、50周年記念品、美しくキュートな花が咲いたロゴマーク入りクリアファイルが配布されました。そして、50周年記念座談会が初日に開催され、山口桂子先生、工藤せい子先生、深井喜代子先生、佐藤正美先生、吉永尚紀先生にご登壇いただき、前理事長の浅野みどり先生と副理事長の安藤詳子が座長を担当し、長く重みのある本会の歴史と将来への展望を参加者で共有しました。また、夕刻には50周年記念祝賀懇親会が弦楽四重奏の調べとともに100名程の参加者で始まり、泉キヨ子先生はじめ名誉会員の方々から秘話も交えて懐かしい思い

出や心温まる激励のお言葉を頂戴しました。これらの企画は、勝山貴美子先生、山田律子先生、木下由美子先生、村上好恵先生はじめワーキングメンバーと学術集会担当者の皆さまによる丁寧な準備もあり成功裏に終わることができました。翌日は企画Ⅱとして、山田律子先生、白尾久美子先生、若村智子先生、中西純子先生、長家智子先生により、パネルディスカッション「地方会の歩みとこれから」について活発な議論がありました。現在、ワーキンググループでは、今年度内の完成を目指して、これまでの企画内容を含め、次世代に繋ぐ記念誌の編集（電子媒体）に取り組んでいます。皆さまのご協力に感謝するとともに、今後とも何卒、ご支援お願い申し上げます。



委員会紹介

総務担当

総務担当は、理事長の補佐として、会員の入退会や役員人事に関すること、会員の皆様への情報提供の役を担っています。できるだけ早く会員のメリットが受けられるように、入会の承認は2週間ごとに行っています。このところ、学生会員のご入会が続き、今後の看護研究の発展に期待するところです。会員の皆様の看護研究の取り組みがますます発展するように会員の皆様と一緒に作り上げていきたいと思っています。看護研究の活性化に向けたアイデアや企画がありましたら、事務局までご連絡ください。

鈴木みずえ（浜松医科大学） 北 素子（東京慈恵会医科大学）

渉外担当

渉外担当では、日本看護系学会協議会（JANA）、日本学術会議、看護系学会等社会保険連合（看保連）等との円滑な連携を担います。重要な関連情報は事務局を通じて、理事・監事・評議員・会員へ送信し、本会ホームページに関連の情報を掲載して広く周知しています。

また、2022年に将来構想委員会において本会の50周年記念事業について検討され、渉外担当が中心となり50周年記念事業ワーキンググループ11人を結成して取り組むこととなりました。この間、ほぼ2か月毎にワーキングZoom会議を開催し活発に活動してきました。記念誌編集を2024年度までにまとめ、2025年度で総括になると見込んでいることを報告します。今後も歴史を継承し学術活動を発展すべく、広く他組織との連携を進めたいと思います。

安藤 詳子（一宮研仲大学） 岡山 久代（筑波大学）

会計担当

会計担当は本学会の資産および会計管理を行い、予算案の提案や決算確認および報告、会費請求などが主務となります。会費納入率は毎年高く、学会運営が安定しておりますことに、会員の皆様に厚く感謝申し上げます。学会の資産により委員会や学術集会等が円滑に営まれるよう適切な資産および会計管理に尽力してまいります。

遠藤みどり（山梨県立大学） 野口 真弓（日本赤十字豊田看護大学）

和文誌編集委員会

和文誌編集委員会はこれまで通り、1）「日本看護研究学会雑誌」の企画、編集、発行の基本方針に関すること、2）投稿規程等の制定、改廃に関すること、3）論文、資料等の投稿受付、査読審査に関すること、4）論文掲載の決定に関すること、5）その他、刊行に関すること、を担当しています。

日本看護研究学会雑誌の発行は、学会の根幹をなす機能であり、インパクトのある研究結果を迅速に公表できるように心がけています。査読へのご協力と論文投稿の両面から、会員の皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

委員長

佐伯 由香（人間環境大学）

委員

會田 信子（信州大学） 伊丹 君和（滋賀県立大学）

佐々木新介（岡山県立大学）

名越 恵美（岡山県立大学）

法橋 尚宏（神戸大学）

松田 光信（大阪公立大学）

光木 幸子（同志社女子大学）

高井ゆかり（群馬県立県民健康科学大学）

武用 百子（大阪大学）

本田可奈子（滋賀県立大学）

水野恵理子（順天堂大学）

森 恵子（岡山大学）

英文誌編集委員会

英文誌編集委員会は、1）『*Journal of International Nursing Research (JINR)*』の企画、編集、発行の基本方針に関すること、2）投稿規程等に関すること、3）論文、資料等の投稿受付、査読審査に関すること、4）論文掲載の決定に関すること、5）その他、刊行に関することを担当しています。JINRは、看護学に関連する幅広い分野の研究を範囲に、世界中の研究者に門戸を開いています。アクセプトされた論文は、オープンアクセスにて迅速公開されます。多くの方々の論文投稿をお待ちしております。また査読へのご協力もよろしくお願いいたします。

委員長

古瀬 みどり（山形大学）

委員

法橋 尚宏（神戸大学、JINR編集長） 荒木田美香子（川崎市立看護大学）

Polly Siu Ling Chan（University of Hong Kong）

深井喜代子（東京慈恵会医科大学、JINR編集顧問）

Shawn Yong-Shian Goh（National University of Singapore）

Elsi Dwi Hapsari（Universitas Gadjah Mada）

飯田貴映子（千葉大学）

Rick Yiu Cho Kwan（Tung Wah College）

Chia-Chin Lin（University of Hong Kong、JINR副編集長）

Justina Yat-Wa Liu（Hong Kong Polytechnic University）

操 華子（静岡県立大学）

辻村真由子（滋賀医科大学）

横山 美江（大阪公立大学）

岡田 忍（川崎市立看護大学）

清水 安子（大阪大学）

吉永 尚紀（宮崎大学）

委員会紹介

研究助成委員会

研究助成委員会は、2024年度に「奨学会」から「研究助成委員会」へ、委員会名称や規程が変更された新しい委員会です。2025年度の研究助成募集より、正会員・学生会員の研究費用を助成します。研究助成に応募された申請書等について、本委員会で審査を行った後、理事会にて審議・決定し、社員総会で報告させていただきます。正会員の皆様、学生会員の皆様、どうぞ奮ってご応募ください。

委員長

作田 裕美 (大阪公立大学)

委員

長谷川真澄 (札幌医科大学) 藤田 君支 (九州大学)
堀口 雅美 (札幌医科大学) 森 恵子 (岡山大学)

学会賞・奨励賞委員会

学会賞・奨励賞委員会では、過去3年間に本学会が発行する学術雑誌に発表された論文から、学会賞は看護学の発展に貢献できる先駆的な原著論文の筆頭著者1名、奨励賞は独自性があり将来に発展が期待される5論文を選考しています。今年度より英文誌も選考対象に含まれ、和文誌および英文誌編集委員会から推薦された論文について本委員会で選考を行い、理事会および社員総会で承認を受ける、という過程を担っています。

委員長

長谷川真澄 (札幌医科大学)

委員

作田 裕美 (大阪公立大学) 藤田 君支 (九州大学)
堀口 雅美 (札幌医科大学) 森 恵子 (岡山大学)

将来構想委員会

将来構想委員会は、「当法人の将来構想に必要な事項を検討すること」と目的としています。委員は理事長、鈴木副理事長(総務担当)、安藤副理事長(渉外担当)、北総務担当理事、岡山渉外担当理事、遠藤会計担当理事の6名です。

現在、定款の改正案、会員管理の見直し案、50周年記念事業、昨年度新設されたNursing Innovation Seeds研究助成の運営、地方会の運営、ワーキング運営などについて検討しています。学会の発展に寄与する内容について今後も検討していく予定です。

委員長

叶谷 由佳 (理事長)

委員

鈴木みずえ (総務担当副理事長) 北 素子 (総務担当理事)
安藤 詳子 (渉外担当副理事長) 岡山 久代 (渉外担当理事)
遠藤みどり (会計担当理事)

研究倫理委員会

研究倫理委員会は、研究倫理に関する啓発事業に関わる事業として、人・動物あるいは資料等を対象とする研究の倫理的問題を検討し、会員が、看護研究に伴う倫理について理解を深めると同時に、研究が倫理的に遂行できるように支援することを目的としています。

また、本委員の他に理事長が選任する委員を加え、研究倫理審査も担当します。研究倫理審査の対象は、会員であり、申請者が所属する機関に研究倫理審査を行う組織が設置されていない、あるいはやむを得ない理由で倫理審査を受けることができない場合であって、なおかつ、申請者の所属している所属長の承諾を得ている場合に行います。詳細は学会ウェブサイトをご参照ください。

委員長

山勢 博彰 (日本医科大学)

委員

清水 安子 (大阪大学) 中尾 久子 (第一医科大学)
森 千鶴 (東京医療学院大学)

委員会紹介

国際活動推進委員会

国際活動推進委員会は、会員の国際的な活動と交流を支援することを目的しており、会員の協力をいただきながら、国際的な活動に資する情報を提供する、国外への情報発信を支援する、海外の学会・関連機関との連携・交流を行うことを目的に活動しています。

中でも、会員の方からは、ご自身の研究を国外へ発信することのニーズは高く、日本看護研究学会第50回学術集会では、委員会企画として若手研究者による英文誌に投稿した経緯の紹介を行いました。

今後は2025年3月2日(日)に、ナラティブ・メディスンの講演会を計画しています。また英語教材を活用して、患者の語りを豊かに読み取ることを学ぶワークショップも同時に開催します。詳細については今後ホームページなどでお知らせします。多くの方のご参加をお待ちしています。

今後も会員の皆様の国際活動をさらに推進できるように取り組んで参ります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

委員長

岡 美智代(群馬大学)

委員

新井 清美(信州大学)

古賀 明美(佐賀大学)

中本 五鈴(東京都健康長寿医療センター研究所)

茂木英美子(足利大学)

大規模災害支援事業委員会

大規模災害支援事業は、大規模な災害により被災された看護学生の修学継続と、看護学研究者(本学会会員)の研究継続の支援を目的とし、被災した個人を直接、経済的に支援する、他の学会にない独自の支援事業です。

令和6年元旦の能登半島地震では、第1次、2次と併せて15件、241万円を支援させて頂きました。平成23年度よりこれまでの総計は、326件、総額約2,806万円になります。本事業の原資は学会一般会計ならびに学術集会等からの繰入金と会員の皆様からのご寄附等であり、総額12,431,455円になります。皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。

本委員会は、大規模災害の発災時において、速やかに必要な人に支援が届けられるよう、情報の周知と迅速な対応に努めてまいります。

委員長

三橋 睦子(国際医療福祉大学)

委員

鈴木みづえ(浜松医科大学)

本田可奈子(滋賀県立大学)

広報委員会

広報委員会は学会の事業及び看護に関わる教育・研究活動についての情報を周知することを目的として活動しています。具体的な活動としては次の5点です。

- 1) 本会ホームページの作成、管理及び運用
- 2) ニュースレターの発行
- 3) 会員向けメール配信による情報発信
- 4) 必要と認められる情報の収集、開示、及び管理
- 5) 広報体制の検討

今年度は5)の検討を進めております。会員の皆様に学会の動向や最新の情報を発信し、研究活動に役立てていただける、また教育や臨床の活動を推進していく広報をめざして活動していきたいと思っております。

委員長

池田 清子(神戸市看護大学)

委員

桑原 京子(神戸市立医療センター西市民病院)

塩飽 仁(東北大学)

東田 美紀(大山記念病院)

波田 彌生(園田学園女子大学)

畑中あかね(神戸市看護大学)

永瀬紗奈衣(JCHO神戸中央病院)

看保連ワーキング

本ワーキングは看護系学会等社会保険連合(看保連)に加盟している本学会が、診療報酬や介護報酬への要望のためのエビデンス作りと要望書作成を行っています。本学会はアンブレラ学会とも言われ、看護学に関するテーマを幅広く扱うので要望について焦点を絞りにくいというところがある反面、幅広い分野に対応できるというメリットもあります。今年度は10名体制で活動をしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

委員長

金田 明子(横浜市立大学)

岡山 久代(筑波大学)

大西 みさ(旭ろうさい病院)

河野 敬(横浜市立大学)

田中明日美(在宅療養支援診療所)

委員

赤瀬 智子(横浜市立大学)

岡田 摩理(日本赤十字豊田看護大学)

玉井 奈緒(横浜市立大学)

三浦 武(横浜市立大学)

南崎 真綾(横浜市立大学)

委員会紹介

実践研究活動推進ワーキング

このワーキングは、会員の看護実践の質の向上に資する研究活動を推進し、支援することを目的としております。今期より新しい構成メンバーで活動を行っていくこととなりました。これまでの活動を引き継ぎつつ、会員の皆様からご意見をいただく機会を持ち、改めて、よりよい活動を行っていけるよう検討してまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長

北 素子（東京慈恵会医科大学）

委 員

柊中智恵子（熊本大学）

濱田真由美（東京慈恵会医科大学）

林 みよ子（静岡県立大学）

山口みのり（国際医療福祉大学）

50周年記念事業ワーキング

本ワーキングは、将来構想委員会の下、本学会の半世紀という重厚な歴史を振り返り、その足跡を刻み、これからの学会活動の更なる活性化と発展につながることを願って、50周年記念事業に取り組むために2022年11月に結成し、第10回までワーキング会議を重ねてきました。ワーキングメンバーの熱い心意気で第50回学術集会における記念企画の座談会と懇親会を終えて、現在は今年度完成を目指し記念誌（電子媒体）を編集中です。歴代の理事長・学術集会長・編集委員長等から祝原稿、広く会員の皆さまからのメッセージ、学会賞及び奨励賞受賞者からの受賞後研究活動状況レポート、学会誌の文献レビュー等、多くの皆さまの声を反映する内容です。どうぞ、楽しみにお待ちください。そして、これまでの皆さまのご協力に感謝するとともに、今後ともご支援をお願い申し上げる次第です。

委員長

安藤 詳子（一宮研伸大学）

委 員

勝山貴美子（横浜市立大学）

河原 宣子（京都橘大学）

木下由美子（宮崎大学）

佐伯 由香（人間環境大学）

塩飽 仁（東北大学大学院）

田中 裕二（令和健康科学大学）

行田 智子（群馬県立県民健康科学大学）

藤井 徹也（豊橋創造大学）

村上 好恵（東邦大学）

山田 律子（北海道医療大学）

地方会からのお知らせ

■東海地方会

【第29回東海地方会学術集会のご案内】

テーマ：人生100年時代の看護を考える

会 期：2025年3月15日（土）

会 場：ウインクあいち（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

一般演題募集期間：2025年1月6日（月）まで

参加申し込み期間：2025年2月7日（金）まで

詳細は、東海地方会ウェブサイト（<https://www.jsnr.or.jp/district/tokai/>）にてご確認ください。

■近畿・北陸地方会

【第38回近畿・北陸地方会学術集会のご案内】

テーマ：災害看護の過去・現在・未来

会 期：2025年3月8日（土）

会 場：甲南女子大学

詳細は、近畿・北陸地方会ウェブサイト（<https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/meeting/>）にてご確認ください。

2024年の幕開けは能登半島地震に始まり、災害を身近に感じる一年となりました。このような背景から、第38回日本看護研究学会近畿・北陸地方会学術集会では、松下由美子大会長（甲南女子大学看護リハビリテーション学部）をはじめとする企画実行委員の皆さまとともに、「災害看護の過去・現在・未来」をテーマに準備を進めております。基調講演では増野園恵先生（兵庫県立大学）をお招きし、「コミュニティの回復力 地域の中長期支援に焦点を当てて」のご講演を賜ります。

地方会からのお知らせ

■中国・四国地方会

【第37回中国・四国地方会学術集会のご案内】

テーマ：看護のチカラ2025—ひと・まち・いのちを繋ぐ—

会 期：2025年3月9日（日）

会 場：聖カタリナ大学松山市駅キャンパス

事前参加登録期間：2025年1月31日（金）まで

詳細は、中国・四国地方会ウェブサイト（<https://www.jsnr.or.jp/district/chugoku-shikoku/>）にてご確認ください。

■九州・沖縄地方会

【第29回九州・沖縄地方会学術集会のご案内】

テーマ：多職種連携により対象者・家族のQOL向上を目指す

会 期：2025年3月9日（日）

会 場：宮崎大学医学部キャンパス（対面開催）

参加申し込み期間：2025年2月14日（金）まで

詳細は、九州・沖縄地方会ウェブサイト（<https://www.jsnr.or.jp/district/kyusyu-okinawa/>）にてご確認ください。

名誉会員挨拶

名誉会員の称号に寄せて

愛知県立大学／日本福祉大学 名誉教授 山 口 桂 子

今夏、(社)日本看護研究学会第50回学術集会という節目の年に、名誉会員の称号をいただくことができ、感慨深い学術集会になりました。この日は、本会の50周年記念座談会「古きを訪ねて新時代を拓く」が企画され、50年を振り返る機会をいただきましたが、その中で、この学会との関わりが、自身の研究者としての土台を作り、その後の長きにわたる研究や教育活動の道標であったことを、改めて実感させられました。

一方、多くの名誉会員や諸先輩方々のように、自分自身がこの称号に値する活動を本学会のために、ひいては看護界や社会のために、成しえていたのかと危惧するところもあります。今後は多くの若い優秀な後輩会員たちにその思いを託し、本学会がさらなる飛躍をしていく様を楽しみにしたいと思います。名誉会員推挙の労を担っていただきました皆様に感謝申し上げます。

お知らせ

訃報

永年に亘り本学会にご貢献いただきました宮崎和子先生が、2024年11月6日にご逝去されました（享年95歳）。謹んで宮崎先生のご冥福を心からお祈り申し上げます

— 編集後記 —

今号は新体制での初めてのニュースレターとなりました。学会誕生から50周年の節目を迎え、これまで学会活動を支えて下さった先輩方に感謝するとともに、これからも皆様に有益な情報をお届けできるよう務めて参りたいと思います。

(広報委員会)